※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究ｂ	単位数	２単位	年次	全年次（言語文化履修済後）
使用教科書	「精選　古典探究」（大修館書店）						
副教材等	「古典常識も学べる　新明説総合古典文法」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古文・漢文の様々な作品を取り上げ、読み味わいます。古文においては、作品を理解するために必要な語句の学習、助動詞・敬語を中心とした文法事項、さらには古典常識や文学史も学習します。

漢文においては、訓読から読解のために必要な語句・句法を学習し、作品の背景となる漢文の基本常識・歴史的な背景についても学習します。

古文漢文の表現を通し、登場する人物の心情や行動を理解し共感すると共に、作品世界を味わう時間を持ちましょう。

2　学習の到達目標

・我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
・古典（古文・漢文）を読む能力を養い、その理解と関心を深める中で、ものの見方・感じ方・考え方を広げることができる。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古文・漢文（訓読）を正しく音読すると同時に内容を読み取ることができる。 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などにについて理解している。	・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえることができる。 ・教材文を正確に読み取り、自分の知識や意見と結びつけた上で、理解を深めることができる。 ・古典の内容を正確に聞き取り、自分の考えを整理して話すことができる。 ・場や課題に応じた形で自分の考えをまとめ、適切な表現で書き表すことができる。	・古文・漢文の様々な作品と、その世界に関心を持ち、作品から、ものの見方や価値観、美意識を積極的に学習する態度を養う。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前半	古文を味わう ［教材］ 『更級日記』 源氏の五十余巻	a:　古文特有の言葉の決まりを理解している。 b[読]:古文特有の言葉に注意しながら読み進め、教材文の物語や展開を理解している。 c:日本の言語文化に興味を持ちながら学習する姿勢がある。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト
	古文を味わう ［教材］ 『源氏物語』 葵の上と物の怪	a:教材文中の助動詞や古典文化について理解している。 b:[読]:文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 ｃ：歴史物語の特徴をふまえ、人物や事件についての作者の視点を考えようとしている。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト
後半	古文を味わう ［教材］ 『万葉集』	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b:「読」必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c:歌の内容だけでなく、万葉仮名など、『万葉集』に独自の要素についても理解しようとしている。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト
	漢文を味わう ［教材］ 『論語』 暴虎馮河 過猶不及	a:漢文を訓読する際のきまりを理解している。 b[読]:訓読のきまりに注意しながら、教材文を正確に書き下し、内容を理解できている。 c:漢文を訓読する際のきまりを理解しようとしている。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５～１０　）時間

・書くこと　…　（　５～１０　）時間

・読むこと　…　（　４０～４５　）時間